

# あいざとだより

Vol.58 2026.01



12月に開催したクリスマスコンサート

- ▷ 01 院長挨拶／病院機能評価「認定」
- ▷ 02 医局より
- ▷ 03 グループホームかみいた 開設
- ▷ 04 大規模地震災害に備えて／非常食
- ▷ 05 デイ・ケア藍果／藍涼祭
- ▷ 06 心躍るクリスマスコンサート／功労者表彰

# 謹賀新年

今年は「丙午（ひのえうま）」に当たります。十干（じっかん）、十二支（じゅうにし）の組み合わせで60年ぶりになります。丙午の俗説（この年に生まれた女性が男性を不幸にする）を当時は信じていたのか、60年前の昭和41年は出生数がその前年より25%も減少しています。しかし、今や俗説も関係なく、出生数は減り続けています。地方の人口減少は病院の役割や配置も変えていきます。

一方で「精神障害者にも対応した地域包括システム（にも包括）」と呼ばれる取り組みが進められており、病院だけにとどまらず、地域社会で誰もが安心して自分らしく暮らせることを求められ、様々な場面で連携が求められます。

藍里病院は急性期精神科医療から地域支援まで先進的に取り組んできました。今後はさらに社会環境の変化で求められることが増えます。人口減少の時代に当事者や家族、地域の方々とより密な連携を図っていきたいと思います。

本年もよろしくお祈りいたします。

社会医療法人あいざと会 藍里病院 院長 元木洋介

## 病院機能評価の「認定」を受けました

当院は、2025年3月13日～14日、日本医療機能評価機構による『病院機能評価 精神科病院 3rdG:Ver.3.0』を受審しました。病院機能評価は、病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的・科学的・専門的な立場で評価する仕組みです。

当日は、日本医療機能評価機構から3名のサーベイヤーが来院し、当院の様々な文書類、カルテ審査、具体的な医療の提供内容などについて、評価を受けました。十分な審査の上、後日『認定』の結果をいただきました。

審査結果の詳細からは、当院の特色や強みについて良い評価を頂いたとともに、課題とすべき点も明確となりました。良

い点を強化するとともに、もう一段階上の医療の提供・組織運営を目指せるよう、課題に取り組みたいと思います。

副院長 久保弘子



## 医局より～

息子よ

井上 麻由

昨夏から中学1年の息子のスマートフォンとパソコンを利用停止した。

中学入学と同時に買い与えたのだが、残念ながら、わずか5か月という異例の早さで預かりとなった。理由は、成績不良とスマホ紛失が重なり我が家のスマホ使用条件を逸脱したということで、彼も納得の上である（とはいえ、かなり抵抗した）。

同時期に「子どものデジタル脳 完全回復プログラム」という本を読んだこともあり、その後の彼を関心をもって観察してみた。

息子の紹介をしよう。私に似て、やや不注意と多動傾向がある。サッカー部に入り、武術を習い、ゲーム好きである。「ゲーム依存」ではなく「ゲーム好き」と書いたのは、ゲームばかりではないから。その代わり、LINE 着信の音が常にピコピコ鳴っていた。テレビも観るが、これと言って番組を決めて観るわけではない。要は、依存しやすい素質はあるが、一つのことのにめり込むのではなく、いろんなことをしたくていつもバタバタ忙しく動いている子である。一方で、彼が何か困難に出くわしたときにその時ゲームがあれば、依存症になる可能性は十分にあると、私は職業柄、勝手に分析している。

そんな息子からスマホがなくなった。

最初の変化は、意外にも私自身にあった。息子と連絡がとれない、行動が全く把握できないことに不安になった。誰とどこに行くのか何時に帰るのか、執拗に聞いてしまう。一方で「早く帰れコール」から解放された息子は、私の不安を横目に、リビングで過ごす時間をご機嫌で、私にちょっかいをかけてくるが増えた。彼はスマホやパソコンが傍に無い生活に意外と早く順応した。

仕事から帰宅したときに、ヘッドホンをしてパソコンにかぶりつく息子の姿を見なくなった。正月には、徐々に会えた従兄弟達と、雪が舞う中、何時間も庭やグラウンドでサッカーや凧揚げをし、耳が真っ赤になって帰ってきた。息子から冬の匂いがした。

デジタル機器からしばし離れた息子。当初は取り上げられたことを友達に話すのがカッコ悪い、恥ずかしいと言った。友達と遊ぶ約束をとりつけるのも、学校で必死に時間と場所を確認する姿が目につく。待ち合わせ場所で友達と会えるまで、きっと不安だろう。そして私はスマホを通して息子を監視することができなくなった。

でも不思議だ。今、なんだかそれが普通になった。

テストの目標番数への道のりは相変わらずのんびりしていて、再貸与は延期されたままである。息子の苦悩(?)と私の不安はまだ続く。

息子よ、母は願う。どうかあなたの人生が豊かなものになるように。きっとその素地となる今を、人間臭く一緒に生きよう。



# グループホームかみいた 開設



R7年11月、これまで上板町内の住宅街で利用者の生活を支えていたGHかみいた1(外部サービス型)が廃止され、藍里病院近くにGHかみいた(介護包括型)が新たに開設されました。

スタッフが24時間常駐しており、食事の提供や夜間の相談、緊急時にも早急な対応が可能となり、地域で障害を持った方が安心して生活を送ることが出来るように支援を行っています。



<居室>エアコン、照明、カーテン完備。ベットや収納家具等は持ち込みになります。



<風呂場>入浴時間9:00～21:00。1人ずつゆっくり入浴していただけます。



<食堂>食事提供時間は朝食7:00、昼食12:00(休日)、夕食16:30です。

## 利用対象者

原則 65 未満で共同生活が可能な方。

藍里病院デイ・ケアや福祉サービス等の利用をしていただきます。



お問い合わせ先

〒771-1342

徳島県板野郡上板町佐藤塚字東 288-3

指定障害福祉サービス事業所すくも

電話/FAX 088-694-6876



GH かみいたと一緒に新生活をスタートしてみませんか？お気軽にお問い合わせください。

# 大規模地震災害に備えて

10月30日、震度6弱の地震発生を想定した大規模避難訓練を実施しました。訓練では、停電や電話が使えない状況を想定し、災害対策本部の設置、院内放送による情報共有、患者さまの避難誘導や負傷者の応急対応を行いました。あわせて、救護所（トリアージエリア）や福祉避難所の開設訓練も実施し、各部署が連携して行動する流れを確認しました。今回の訓練を通じて、災害時における初動対応や情報伝達の重要性を再確認し、今後の防災体制の強化につなげていきます。



## 非常食

栄養管理室より



当院では災害や停電などの緊急時にも患者様と職員の健康を守るため、非常食を備蓄しています。

アルファ米やレトルト惣菜、栄養補助食品など長期で保存が出来る食品をそろえ、7日分（21回分）の食事を確保しています。

また、軟菜食等嚥下状態に配慮したメニューも準備しており、どなたにも安心して召し上がっていただけるよう工夫しています。

食べる事は心と体の支えになる大切なこと、私たちは非常時でも、その安心をお届け出来るよう準備を続けています。





デイケア藍果では、6月と12月に華道のプログラムを楽しんでいます。

今回は正月用の花にチャレンジ。届いた花材を見た瞬間から、「うわ～きれいな花！」「どうやっていけようか？」という声が聞こえてきます。今回は「360度どこから見ても楽しめる作品」という講師の先生からテーマが発表され、まずは正

解を気にせずにそれぞれ思い思いに花をいけていきます。途中で先生にアドバイスをもらいながら手直し、気づけばそれぞれ個性あふれる“らしさ全開”の作品が完成しました。完成した作品は、病院内に飾ったり、自宅に持ち帰って正月飾りとして楽しめました。花を通して季節を感じ、ちょっと気持ちが明るくなる、そんなデイケアの時間になりました。



## 藍涼祭

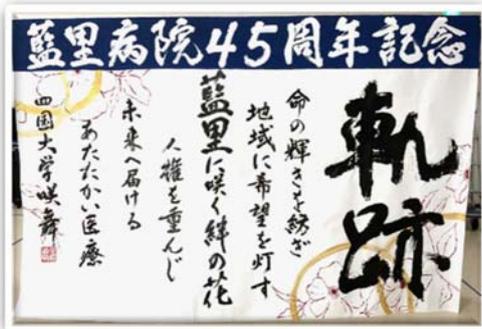
藍涼祭を10月16日に開催しました。今年はゲストに「四国大学書道パフォーマンス咲舞」「本家大名連」の2組をお迎えしました。

四国大学書道パフォーマンス咲舞の皆さまには当院45周年記念の作品を依頼し、徳島から世界に発信する力強い圧巻の書道パフォーマンスで披露頂きました。

会場からは割れんばかりの歓声が上がりました。

また今年は藍涼祭の目玉でもある模擬店で昨年のジュースやアイスに加えフルーツが仲間入りしました。人気ですぐに売り切れてしまうほどでした。ダーツなどの模擬店も人気でした。

最後は病院全体に徳島伝統の阿波踊りの音色が鳴り響き、特徴的な服装に身を包んだ本家大名連の皆さまの阿波踊りを披露頂きました。参加者と一緒に総踊りも行い、一体感のある素晴らしい時間となりました。



# 心躍るクリスマスコンサート

12月19日デイケアの音楽講師、鎌田小百合先生率いる『女声コーラス オルゴール』によるクリスマスコンサートを開催しました。オルゴールのメンバー14名がクリスマスの定番曲や讃美歌など心温まる感動のハーモニーを聞かせてくれました。会場はクリスマスムード満点！一緒に奏でたハンドベルは心に残る体験となりました。



## 精神保健福祉功労者として表彰していただきました

この度は、精神保健福祉功労者表彰に推薦していただき誠に光栄に存じます。このような賞を頂けたのは、理事長・院長をはじめ、各先生方、一緒に働いてきた上司や仲間からの温かいご指導と、多大なるご協力のおかげと感謝しております。今回の受賞を励みに、これからも、初心を忘れずに、貢献できるよう頑張っていきたいと思います。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



藍里病院 岡本・山川クリニック 大石



# 藍里病院

日本医療機能評価機構認定病院  
精神科救急医療施設常時対応型病院  
徳島県依存症専門医療機関  
徳島県依存症治療拠点機関



## 精神科・心療内科・内科・歯科

受付  
(午前) 月～金曜日 午前 9:00～11:30  
(午後) 月～水・金 午後 13:00～16:00

診療  
(午前) 月～金曜日 午前 9:30～12:30  
(午後) 月～水・金 午後 13:30～16:30

### 休診日

木曜日午後・土曜日・日曜日・祝日  
年末年始

### 歯科診療

(午前) 月・水・木・金 午前 9:00～12:00  
(午後) 月・水・金 午後 13:00～16:00



〒771-1342  
徳島県板野郡上板町佐藤塚字東 288-3  
TEL 088-694-5151  
FAX 088-694-5321



※詳しくはお手持ちの携帯電話ならびにスマートフォンでQRコードを読み取ってください

## あいざと蔵本クリニック

### 心療内科・精神科

受付 (午前) 月～水・金・土曜日 午前 9:15～12:00  
(午後) 月～水・金 午後 14:00～17:00

診療 (午前) 月～水・金・土曜日 午前 9:30～13:00  
(午後) 月～水・金 午後 14:00～17:30

休診日 木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始



〒770-0041  
徳島県徳島市蔵本元町二丁目 40-1

TEL 088-634-1881  
FAX 088-634-1880



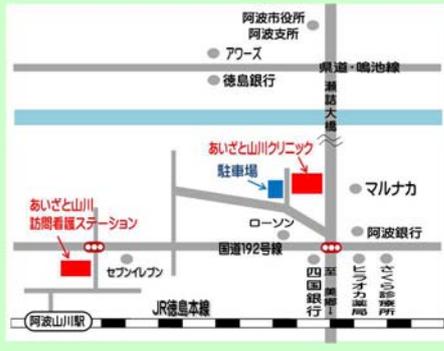
## あいざと山川クリニック

### 心療内科・精神科

受付 (午前) 月～水・金・土曜日 午前 9:15～12:00  
(午後) 月～水・金 午後 14:00～17:00

診療 (午前) 月～水・金・土曜日 午前 9:30～13:00  
(午後) 月～水・金 午後 14:00～17:30

休診日 木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始



〒779-3403  
徳島県吉野川市山川町前川 200 番地 2

TEL 0883-42-8811  
FAX 0883-42-8812



## 関連施設

- デイケア 藍果
- デイケア 山河
- あいざと訪問看護ステーション
- あいざと蔵本訪問看護ステーション
- あいざと山川訪問看護ステーション
- 障害福祉サービス事業所 すくも
- 地域活動支援センター ことじ
- グループホーム しょうずい
- いたの1 いたの2 いたの3
- かみいた さんが
- パン工房 ランベリー

## あいざと・こころの医療福祉相談センター

TEL 088-694-5151

24 時間 365 日受付

精神科救急／一般的精神医療相談／生活相談